

Dignity.  
Harmony.  
Humanity.



# 命の尊厳と和 奉仕を通じて

ライオンズクラブ国際協会 ・ 2015～2016年度  
国際会長 山田 實紘

毎年、何千羽もの小さなツルが、高度8000メートルを超すヒマラヤの山々をV字型を描きながら渡っていきます。アネハヅルと呼ばれるこの鳥は、ツルの中でも最も小さい種類の一つです。夏はモンゴルの草原に生息し、冬が近づくと、群れをなして南方のインドに向けて旅立ちます。高度8000メートルでは、気温は零下30度、酸素の量は通常の3分の1以下に落ち込みます。この過酷な環境は、彼らの移動をまさに生死を賭けたものになっています。

この困難なルートを少数の鳥が渡ることは不可能です。大きなV字型を描く一群として飛び、前方の鳥が生み出す揚力を後方の鳥が利用することで、全体のエネルギーを抑制することが可能です。そして、リーダーのポジションは最も体力を要するので、順次交代することで負担を配分することが必要となります。アネハヅルは、群れの全員が協力し、調和によってこの飛行を可能にしているのです。一羽一羽は小さいが、すべてのツルが見事なまでに尊厳をもって生きています。

この鳥が示す決意と、チームワーク、家族のつながりといった特徴は、様々な文化圏で敬愛されてきました。日本では、ツルは伝統的に長寿のシンボルとして知られています。日本の折り紙では、ツルは最も基本的で一般的な形なので、子供たちは誰でもその作り方を教わることとなります。また日本には、病気やけがに苦しむ大切な人のために、「早く回復し、元気で長生きをしてほしい」という願いを込めて、折り鶴を贈る習慣があります。ツルを折るという作業は、友人や家族の病が治り、再び元気になることを心から願う癒しの効果がある行動だといえます。そしてまた、ツルは日本だけでなく世界中の国々で、平和の象徴としても知られています。

私たちライオンズは奉仕活動を通じ、あらゆる人々に希望と尊厳を持って生きる機会を与えることによって、国際的な平和と調和を育んできました。医師として、私は人間の命の尊厳を守ることを仕事としてきました。しかし、一人の医師がその一生の仕事で助けられる命はおそらく1万人程度に過ぎません。それに対し、私たちの国際協会は、奉仕プログラムと一緒に取り組むことで、毎年何千万もの命を救うことができます。



ヒマラヤ山脈を越えてゆくアネハヅル



日本の折り紙

平和、希望、信念、チームワーク、そして奉仕を通じて世界をひとつにすることが、私の国際会長としてのテーマの中心となる要素です。

# 命の尊厳と和



子供時代は幸せな時であるべき

## 人々に 尊厳をもたらす 奉仕活動

「私たちを行動へと突き動かすべきは人間の尊厳。それは抑圧された者からも奪い取れない尊厳であるとともに、我々一人ひとりが持つ尊厳でもある。許されざるべきを許してしまった時に、我々は尊厳を失うのだ。」

(作者不詳)

私たちには、科学的なものとそうでないものを含めて、おそらく答えが決して見つからないであろう疑問が数多くあります。しかしひとつ確かなことがあるとすれば、人間の尊厳というものは、特別な誰かだけの特権であってはならないということです。そして人間が自らの尊厳を保つために必要な基本の一つは、自分自身と家族を養うことができるということでしょう。想像してみてください。空腹のまま眠らなければならない子供たちを見ていることしかできない親の気持ち、子供が治療可能な病気にかかっていると診断されたのに、その治療を受けさせることができない親の気持ちを。何百万もの人々が、毎朝、その日子供たちに食事を与えたり、必要な医療を与えられるか分からない状態で目覚めています。彼らはいつも不安定な明日に怯え、自分と子供たちにより確かな未来があるという希望がほとんどない状態にあります。

子供時代は、楽しい思い出にあふれた幸せな時であるべきです。家族とのバケーション、祝日のお祝い行事、台所から流れてくる懐かしい美味しそうな匂い、友だちと一緒に読んだお気に入りの物語。そして子供時代はまた、それを支援するネットワークのもとで、将来のための準備と学習に費やされるべき時間であるべきです。

しかし、多くの子供たちには、学校が存在せず、支援のネットワークも存在しません。今日、世界の約22億人の子供たちのうち、およそ10億人の子供たちが貧困の中に暮らしています。貧困は大変につらい状況子供たちにもたらします。貧しい住環境、ホームレス、栄養失調、不安定な食事の供給、学業不振（仮に教育の機会があっても）、医療の不足、その他、私たちの多くが当然のように享受してきたものが、与えられていません。そしてこれは、発展途上国だけの問題ではないのです。

子供たちは、私たちの未来であり明日の担い手ですが、誰よりも私たちの助けを必要としている存在です。そのため、子供たちのための奉仕は、今年も重点事業として継続します。毎日、何千もの子供たちが治療可能な病気、飢餓、清潔な飲水がないなどの理由で死んでいきます。その親たちは、子供たちを救うための頼れる施設がなかったり、お金がなかったり、またはその両方の理由で、為す術もなく子供たちが死んでいくのを見ているしかありません。私は子供たちの必要のない苦しみを減らす手助けがしたいのです。私たちには、すべての子供を救うことはできません。しかし、これまで行ってきた活動を強化し、拡大するだけでも、子供たちに幸せをもたらすことはできます。だからこそ、私は今年、「子供の尊厳イニシアチブ」を提唱します。このイニシアチブの下、ライオンズに次のような奉仕活動の拡大を通じての奉仕を奨励します。

- 病気と闘う子供たちを支援し、元気を与える
- 難民キャンプで生活する子供たちのニーズへの奉仕
- 空腹な子供たちに重点をおいたプロジェクト
- リーディング・アクション・プログラムの継続



以上は、子供たちのニーズに応える様々な奉仕の機会のごく一部の事例です。「子供の尊厳イニシアチブ」についてのより詳しい情報は、協会ウェブサイト [lionsclubs.org](http://lionsclubs.org) から入手できます。



他人に奉仕すること。ライオンズにとって、これはただのお題目ではありません。私たちの組織は、まさにこれを基本に創設されたのです。私たちの奉仕の伝統は続き、そして実際に、コミュニティと変わりゆく世界のニーズを満たすために成長してきました。しかし、私たちはただ奉仕をするだけではありません。ただ食糧や、シェルターなどの必要なものを与えるだけではないのです。私たちが与えるのは希望です。今より明るい明日を人々に与えている、つまり、我々は尊厳を回復させているのです。

しかし、私たちには今よりもっとできることがあるはずですが。ライオンズはまもなく100周年を迎えます。この100周年に合わせて掲げた「100周年記念奉仕チャレンジ」は、野心的な取り組みです。今から、2018年6月30日までの間に1億人に青少年、視力、飢餓、及び環境分野で奉仕を提供するには、これらの分野で現在行っている奉仕活動を3倍にしなければならないということなのです。しかし、我々にはそれが可能なはずですが。ライオンズはこれまでに幾度も、恵まれない人々のための挑戦であれば、喜んで取り組み、目標を上回る成果を上げることができることを示してきました。100万本の木を植えるという挑戦に対し、ライオンズはそれに10倍の結果で応えました。このような事例は数え切れないほどあります。



他者への奉仕は世界を変えることが可能です。考えてみてください。他人のために奉仕をすることは、調和、理解そして平和の種を蒔いているということです。私たちの奉仕活動 - 視力を保護し、はしかから子供たちを守り、空腹を満たし、木を植え、そしてその他多くの事々 - は、ヒューマニティを強化し、お互いへの理解と絆をつくりあげる行為なのです。



子供たちは私たちの未来であり明日の担い手

## 調和 - 奉仕を通じた相互理解

人類学者は、世界に何百もの - 仮に何千ではないとして - 文化の存在を認めています。人類学者が指摘するまでもありません。私たちライオンズの世界でも、人には明らかに外見上の違いがあることにはすぐに気がつきます。しかし私は脳外科医として、外見の特徴、例えば肌の色、髪の色、異なる外見、話し言葉の違い、その他あらゆる外見上の特徴にかかわらず、私たちの中身は基本的には同じであることを疑いなく保証することができます。心臓は心臓です。私たちは皆、同じように機能しています。これは、ただ単に科学的なアプローチをとって言うわけではありません。これは人間へのアプローチであるべきです - つまり、尊厳のため、調和のため、そしてヒューマニティのためのアプローチです。

文化と人々が日々回転し、接触する、このめまぐるしく変化する世界では、文化の垣根を超えて効果的にコミュニケーションをとれるということは、人としてまたは仕事の上において、決定的に優位であるともいえます。文化的に敏感であるためには、思いやり、好奇心、そして他人の意見や信念への敬意が不可欠です。

文化は、人々の暮らしにとって大きな力を持ちます。それはその人の視点、価値観、ユーモア、そして希望や願いにも影響を及ぼします。生まれたその日から、人は自分の文化の中でどうやって行動したらいいか、経験を通じて学習します。時々、私たちは自分の見方だけでどの文化も似たようなものだという結論を出し、自分自身の文化を理解することで、他の文化の中でも通用すると考えることがあります。しかし、それは間違いです。

## 調和のための グローバル奉仕事業

自分自身の文化とは異なるものを理解し、尊重することが重要です。そして、地区や複合地区レベルで合同奉仕事業を行うことほど、異文化への理解と尊敬を培うのに良い方法はないでしょう。地区ガバナーと協議会議長には、ぜひ国際的に手を差し伸べあうことを検討してほしいと思います。日本とフィリピンのライオンズの手による合同医療プロジェクトは、私自身が直接見てきた、このような国際プロジェクトの実例です。合同奉仕プロジェクトは、マンネリ化した運営に別の見方を示唆し、異なる文化への尊敬の機会を提供します。人々のニーズに応えるために一緒に取り組むことは、国際社会の調和を創造することにほかなりません。このようなプロジェクトは、国際協会の第三の目的、「世界の人びとの間に相互理解の精神をつちかい発展させる」を体現するものです。

クラブも、姉妹クラブ・プログラムに参加することにより、異なる文化を理解するという特別な収穫を得ることでしょう。また、異なる文化背景や考え方を持つライオンズとともに活動することは、一人ひとりの視野を広げ、自分自身のクラブ活動にも新しい刺激が得られる結果となるはずです。

「もしもまだ平和が得られていないなら、それは私たちが仲間だということをおぼえているからです。」

マザー・テレサ



人々のニーズに応えるために一緒に取り組む

## より多くの会員はより多くの奉仕

会員とクラブこそが、私たちの組織の心臓です。ライオンズは誠実に、情熱を持って奉仕をし、そして奉仕に対する見返りを求めません。

私たちはこのところ長い間、会員数が増加する状況を満喫してきました。過去7年間、連続で世界全体の会員数増加という結果を示してきたのです。この成功にはいくつかの理由があるでしょう。ダイナミックなグローバル会員増強チーム、効果的なマーケティング戦略と取り入れやすい会員増強のためのプログラムの実施、クラブレベルに始まる献身的なリーダー層、過去にない女性と家族会員への呼びかけなど、枚挙に暇がありません。ともに、私たちは会員数を140万人に近いところまで押し上げてきました。私はこの成長を続けたい。それは、会員が多いということは、より多くの奉仕活動ができる、ということだからです。

## クラブ会長こそが成功の鍵を握っている

国際協会の力はその根本である各クラブから生まれています。だから、クラブ会長こそが私たちの成功の要だといえます。彼らこそが成功するためのパワーなのです。そして、クラブ会長は変化を呼び起こす力があります。また、事業を行うやり方を変えていく力を持っています。だから、私はクラブ会長に訴えたいのです。クラブのムードを革新しよう、と。すべての会員が誇りに思い、コミュニティで一体となった活動を行い、その奉仕を通じて尊敬を集めるような、そんなクラブに革新していこう、と。私たちが入会してくださいと乞うのではなく、新会員が入れてくださいと言ってくるようになったら、素晴らしいと思いませんか？

私は、素晴らしいクラブ会長となるためのポイントを、7つの鍵にまとめました。

## 「アスク・ワン」は家族から

家族と一緒に奉仕活動をするのは、家族と一緒に楽しみ、密度の濃い時間を過ごすのいうってつけの方法です。そしてその家族がライオンズの会員であればさらに素晴らしい！誰かをクラブに誘うならば、まずは自分にとって最も身近で最も信頼する人 - 自分の配偶者や家族を誘うべきです。ライオンズへの自分の思いと意欲をまず、家族と共有しましょう。ライオンズ会員として家族がともに奉仕活動をするのは、他人に奉仕するという伝統を家族に築くことになるのです。

「アスク・ワン」の会員キャンペーンは、家庭から始まります。ライオンズの家族がコミュニティ奉仕の最前線にいれば、奉仕のメッセージはより早く、活発に広がっていくでしょう。その結果、世界最高の奉仕団体にふさわしいという認識が高まるに違いありません。

## ヒューマニティ - すべてを一つに

クラブがコミュニティでの奉仕の中心だとすれば、LCIFは私たちの世界規模での奉仕における中心です。LCIFの交付金があるおかげで、クラブは迅速に災害に襲われたコミュニティを支援することができます。LCIFのプログラムとパートナーシップは苦しむ必要のないはずの失明や困難から、無償の医療や医師、看護師への研修などの提供を通じて、人々を救っていますし、子供たちに生きるためのスキルを教えることもできますし、その他多くのことを可能にしています。私は、ライオンズに一体となって寄付やメルビン・ジョーンズ・フェロープログラムを通じて、LCIFへの貢献の機会を持っていただきたいと思います。こうした支援が、尊厳と調和をもって人類への奉仕を行う能力を支えているのですから。

写真提供：Dan Morris



## クラブ会長 成功への鍵

1. 会員であることの価値を向上  
(新入会員へのより良い研修)
2. 会員が誇れるクラブづくり  
(クラブへの満足度を向上)
3. 質の高い奉仕プロジェクト(コミュニティのニーズに合った奉仕)
4. 家族ぐるみの奉仕  
(「アスク・ワン」は家族から)
5. より多くの女性会員と若手会員を  
(男女比の理想は1:1)
6. コミュニティ全体のリーダーたれ(リーダーシップ研修の充実)
7. 既成の枠にとらわれない発想を  
(非効率な慣例、習慣、ルールの変更)



## おわりに

100周年の祝賀が近づいている今、私たちの創始者、メルビン・ジョーンズの言葉を胸に刻み、思いを巡らすと良いでしょう。

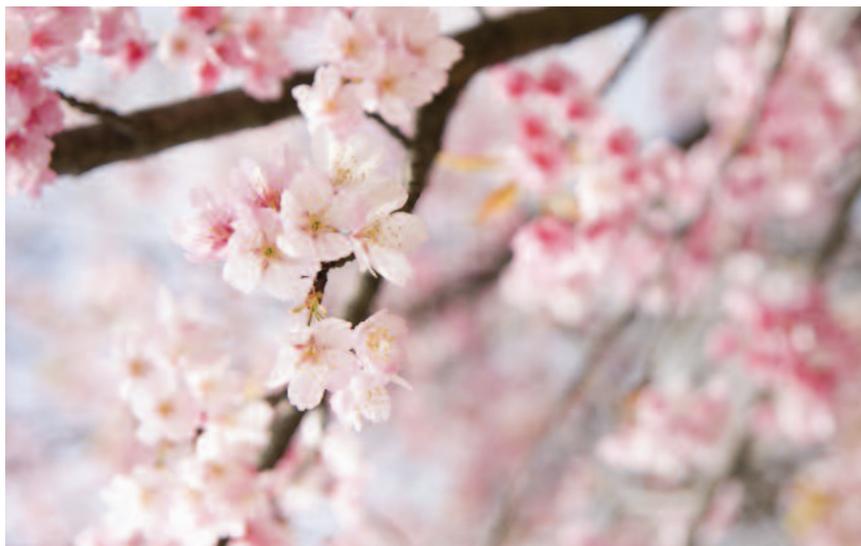
「他人に尽くすことを始めなければ、人生の大は成し遂げられない」

メルビン・ジョーンズ

私たちの歴史を通して、共通の目的のために人々を一つにまとめる力があるということ、ライオンズは示してきました。繰り返し、国境というものは地図の上にある線と点にすぎないことを、我々は自ら示してきました。世界中に紛争や摩擦が絶え間なくありますが、私たちはお互いの違いを超えて、奉仕活動を通じ、草の根のピースメーカーとして活動してきました。



共通の目的のために一つになる



「優しくあれ。開放的であれ。好奇心を持て。強くあれ。寛大であれ。真摯であれ。忠実であれ。正直であれ。ライオンであれ。」

山田 實紘

## Dignity - 尊厳

他人のための奉仕に努力する時、常に奉仕する相手の尊厳を忘れずにいよう。

奉仕の手を差し伸べる時、常にそれは施しではないことを忘れずにいよう。

## Harmony - 和

人が立ち上がるために手を差し伸べる際には、それはただの親切な行為ではなく、それは理解と調和を作り出しているのだということ、常に忘れずにいよう。

## Humanity - 人類愛

自分のコミュニティで恵まれない人々に奉仕の手を差し伸べる時、世界中の目の前にはいない恵まれない人々にも思いをよせよう。

そして私たちが人類のために奉仕を続けるにあたって、人々のために奉仕をするのは義務ではなく、それは責任であることを忘れずにいよう。

私はいま、人道奉仕におけるグローバル・リーダーであるライオンズクラブ国際協会の会長であることを、非常に誇りに思うと同時に、とても謙虚な気持ちを抱いています。千羽鶴にこめて、皆さんの成功をお祈りします。しかし何よりも、皆さんが他人のためにもたらす奉仕が、皆さん自身に素晴らしい愛と満足感をもたらし、心を喜びと平和が満たすことを願っています。

